

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【公開番号】特開2022-109602(P2022-109602A)  
 【公開日】令和4年7月28日(2022.7.28)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-137  
 【出願番号】特願2021-4996(P2021-4996)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月2日(2024.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

本体枠と、該本体枠に開閉可能とされる扉枠とを有する枠構成手段と、  
該枠構成手段に着脱可能に設けられる盤構成手段と、を備えた遊技機において、  
音出力を制御する音出力制御手段と、  
管理者による特定の解除操作が行われるまで継続可能とされ、且つ、特別音が出力され  
る特別状態を発生可能な特別状態発生手段と、  
を備え、

前記盤構成手段は、第1の盤構成部と第2の盤構成部とを有しており、

30

前記第1の盤構成部と前記第2の盤構成部は電氣的に接続可能であり、

前記音出力制御手段は、

前記第1の盤構成部と前記第2の盤構成部とが電氣的に接続されていない場合に所定の  
報知音を出力させることが可能であるものの、前記特別状態中には前記第1の盤構成部と  
前記第2の盤構成部とが電氣的に接続されていない場合であっても前記所定の報知音を出力  
させないものであって、

さらに、前記特別音出力されるときには所定の表示装置に所定画像を表示可能であり、

さらに、前記特別音は、遊技者による音量調整操作が行われても、該音量調整操作によ  
り音量が変更されない音である

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る発明によれば、

本体枠と、該本体枠に開閉可能とされる扉枠とを有する枠構成手段と、

該枠構成手段に着脱可能に設けられる盤構成手段と、を備えた遊技機において、

音出力を制御する音出力制御手段と、

50

管理者による特定の解除操作が行われるまで継続可能とされ、且つ、特別音が出力される特別状態を発生可能な特別状態発生手段と、

を備え、

前記盤構成手段は、第1の盤構成部と第2の盤構成部とを有しており、

前記第1の盤構成部と前記第2の盤構成部は電氣的に接続可能であり、

前記音出力制御手段は、

前記第1の盤構成部と前記第2の盤構成部とが電氣的に接続されていない場合に所定の報知音を出力させることが可能であるものの、前記特別状態中には前記第1の盤構成部と前記第2の盤構成部とが電氣的に接続されていない場合であっても前記所定の報知音を出力させないものであって、

10

さらに、前記特別音が出力されるときには所定の表示装置に所定画像を表示可能であり、

さらに、前記特別音は、遊技者による音量調整操作が行われても、該音量調整操作により音量が変更されない音である

ことを特徴とする。

【**手続補正3**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0008

【**補正方法**】削除

【**補正の内容**】

20

30

40

50